調布教会 教会学校　週報

２０２６年度 みことば

「主を喜びとすることこそ、あなたがたの力であるからだ。」ネヘミヤ記 ８章１０節c

テーマ　「　神様と仲良くなろう　」

教会学校礼拝プログラム

２０２６年 11 月22日

前　奏

賛　美　「球根の中には」21-575

お祈り

神さま、今朝も教会に招いてくださり感謝します。わたしたちは日々の生活のなかで様々な場面に出会い、そのたびに元気になったり、失敗したりして心が上がったり下がったりしています。神様はそんな私たちのすべてをご存じです。どうぞこの朝、イエスさまのお話とそのみことばから私たちにちからをあたえてください。この祈りを救い主であるイエス様のお名前によってお祈りいたします。　アーメン

聖　書　マタイによる福音書6章25～34節　（新約聖書ｐ１０）

交読詩編　交読詩編（4）　詩編23より　p.202

説　教　「ゆたかな実り　何をいちばんにするか」

不安や評価へのとらわれから離れ、「まず神の国と神の義を求めなさい」というみ言葉を日常に生かしましょう。成績や評判ではなく、心の中心に神様をお迎えすることをこころがけましょう。具体的な実践として、①目先の評価や安易な妥協よりも「誠実さ」を選ぶこと、②グループ内のからかいや孤立に気づき、人気よりも「隣の人」を大切にすること、③思うような結果が出なくても一人で抱え込まず、正直に祈り「助けを求める」ことをいつも心がけて歩んでいきましょう。結果や点数で価値が決まるのではなく、ありのままを神様は愛していて下さいます。今日できる小さな行動の種をまくようにして、すべてをイエス様にお任せして歩いていきましょう。

暗唱聖句

「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものはみな添えて与えられる。」
マタイによる福音書6章 33 節

黙想タイム

賛　美　「あなたの道を」　21-528

献金と感謝の祈り　24-1

主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
我らを試みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。
国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。　アーメン

お知らせ　裏面に記載

賛　美　３６　いまでかけよう

祝　福　八木浩史 牧師

後　奏

教会学校の課題　①「神の家族」として、調布教会に繋がろう、② 友のために祈ろう、

③ 災害や戦禍の中にある人々のために祈ろう、④ 調布教会創立 80 周年を祝おう。

今月・来月の予定			
１１月		１２月	
１日	１１月のお誕生日会、召天者記念礼拝	６日	アドベント２、１２月のお誕生日会
８日	クリスマスページェント練習	１３日	**教会学校クリスマス礼拝**
１５日	クリスマスページェント練習	２０日	調布教会クリスマス会（合同礼拝）
２２日	収穫感謝礼拝、ページェント練習、大掃除	２７日	１月の賛美練習、ね羊さんと御心探索
２９日	アドベント１、１２月の賛美練習		

本日のお知らせ

・本日も、クリスマスページェントの練習をします。思い出多い劇を作っていきましょう！
・主日礼拝前半の「子ども説教」への出席をお待ちしています。
・教会に来られない時は、LINE を利用して家庭礼拝をお献げしましょう。

メモ

＜さんび＞

球根の中には

1 球根の中には　花が秘められ、
さなぎの中から　いのちはばたく。
寒い冬の中　春はめざめる。
その日、その時をただ神が知る。

2 沈黙はやがて　歌に変えられ、
深い闇の中　夜明け近づく。
過ぎ去った時が　未来を拓く。
その日、その時をただ神が知る。

3 いのちの終わりは　いのちの始め。
おそれは信仰に、死は復活に、
ついに変えられる　永遠の朝。
その日、その時をただ神が知る。



あなたの道を

1 あなたの道を　主にまかせて、
思いわずらい　主にゆだねよ。
雲と風にも　道を示す
神は歩みを　導かれる。

2 どんな時にも　道を備え、
あなたのわざを　神は祝す。
いつもあなたの　先に進み
光を照らし　導かれる。

3 悪が支配し　おどす時も
先立つ神は　戦われる。
目標めざす　あなたのため
なすべき努め　与えられる。

4 走るべき道を　走り終えて、
栄光のみ国へ　帰るその日、
勝利の冠　与えられて
喜びの歌　共に歌おう。